



校長室だより2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和8年2月5日

第34号

去る3日（火）は節分でした。今月の給食だよりも詳しく書かれてありますが、「鬼は外、福は内」は病気や災難を起こす鬼（邪気）を追い払い、1年の無事や幸福を願う意味があるのだと。しかし、最近では豆まきをするよりも「恵方巻き」を食べるのが節分の新たな風習となっているんですね。

○教室の目下（もっか）の話題は恵方巻き 南南東がどうにか決まる

○恵方より神様は見る 太巻きに黙々かぶりつく顔の群れ（紀子）

翌4日（水）は立春。暦の上では早くも春となりました。まだまだ寒い毎日が続きますが、気持ちを明るくもって過ごしていきたいものです。



ペア学年でのなわとび
大会を行っています。▶

見えない学力が子供を伸ばす

★見える学力 見えない学力 とは？

「見える学力と見えない学力がある」と聞いたことはあるでしょうか？ まず「見える学力」とは、共通の尺度（テスト等）で点数や数値にして評価・測定できる能力で「認知能力」とも言います。

一方、「見えない学力」は「非認知能力」とも言い、共通の尺度では評価・測定できない能力です。

＜見えない学力「非認知能力」を大きく3つに分けると…＞

①「自分を高める力」 意欲・向上心、自信・自尊感情、楽観性 など

②「自分と向き合う力」 自制心、忍耐力、心のしなやかさ（レジリエンス） など

③「他者とつながる力」 コミュニケーション力、共感性、社交性・協調性 など

確かにこうした力は、困難を乗り越えて生きていくための、人として大切な力であるように思います。

★見えない学力「非認知能力」はどうやって伸ばす？

ここで、富山県総合教育センターの学力向上推進チームからいただいた資料に、参考になる内容がありました。それによると、大人（教師、親）はまず、子供のちょっとした行動（表情や言動）をよく見て、そこにある「見えない学力」の芽を見付け、言葉にして伝えることが大切であるとのことです。

たとえば、これまで誰とも話そうとしなかった子が少しでも自分から友達に話しかけている姿を見付けたときに、大人から「自分から友達に話しかけることができたね！」と具体的な言葉で伝えます。そうすることで、子供は自分自身のことをモニタリングして、今の自分にとって望ましい方へと意識して言動をコントロールし始めます。子供が自分自身の意識で行動を変え、それを習慣化できれば、「見えない学力」を自分で伸ばすことにつながります。

こうした大人からの働きかけ（励ましや言葉かけ）は、なるべく複数の大人で、たとえば学校生活のあらゆる場面を通して行なうことによいとのことです。

★感情を動かす仕掛けによって、見えない学力「非認知能力」が働く

人は感情が動くことで、その感情をコントロールしようとして何らかの「非認知能力」が働きます。また、感情を動かすことによって知識がインプットされやすくなり、記憶に残りやすくなるとのことです。

＜授業における「感情を動かすための仕掛け」＞

○現実性…子供にとって身近である、現実味がある仕掛け

○ゲーム性…遊び心のある仕掛け

○関連性…既習内容や他の教科に関連する仕掛け

○協働性…ペアやグループ等、協働するための仕掛け

○当事者性…自己選択・自己決定ができる仕掛け



ペアでの考え方の交流（2年算数科）

この内容は前回の「校長室だより」で取り上げた中野俊成さんの講演の「感情が伴う出来事は記憶に残り、その記憶が新しいものを生み出すきっかけにもなるし、コミュニケーションの礎にもなる」ということとピッタリ一致しています。キーワードは、やはり「感情が動く」「感情に働きかける」ですね！ 授業づくりの大きなヒントになりそうです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします

切り取り

できればお名前or児童名()

2/4(水)学習参観・学級懇談会に来ていただき、ありがとうございました

保護者の皆様には、先日来の積雪のため駐車スペースが非常に少ない中でも多数ご来校いただきありがとうございました。それぞれのお子さんの成長を感じられる授業だったかと思います。

校内は少しずつ令和7年度のまとめ、そして令和8年度の準備段階へと進んでいます。先日の案内文書のとおり、今月は25日(水)の午前中に「6年生を送る会」を、同日の5限に「玉椿ミーティング」を行います。日々お忙しいこととは思いますが、ご都合の付く方は、ぜひご参観いただければと思います。

おはじき遊びを教えてもらったよ(1年)

黒部の名水のことについて
くわしくなりました(4年)

「僕が大切にしたい言葉は～」
(6年)

学校HPもご覧
ください!



シリーズ「教室におじゃまします」2月3日(火)3年図画工作科の巻

グループで取り組んできた「トントンくぎ打ちこんこんビー玉」が仕上がり、作品を紹介する紙を書く時間でした。作品名と工夫点を考えて書きます。

3つのグループのうち、1つのグループは、作品を見返すだけで話合いがよく進みましたが、あとの2グループは「よく分かららないから、1回試してみたいです」と、お願いをしました。小西先生に許可をもらって早速お試し開始です。

グループで協力し合って装置を傾けたり支えたりしながらビー玉を転がします。4人の視線が一点に集まり、上手くいってもいかなくても小さな歓声が上がります。どの子も実にいい顔をしていました。

そのうち、どのグループもようやく自分たちの工夫点が整理でき、その特徴を表現した作品名も決まりました。どれも楽しいですよ。

ジグザグ・スプラッシュマウンテンきょうかばん※強化版

両方からころがせるレース あなたの運勢はてんごく、じごく?

作品は3年教室の廊下に飾られています。



ゴールが天国と地獄の分かれ道になっています!

〈おまけのひとりごと〉来たる7日(土)の14:00から、コラーレのマルチホールで「パフォーミングアーツのエントランス vol.9 講談」が行われます。そして、その前日の6日(金)には本校の6年生向けにアウトリーチ(出前公演)が行われます。講談の入門編レクチャーと短い演目の実演をしていただきます。講談と言えば、圧倒的な言葉の力だけで聴く人の想像力を掻き立てる「一人舞台芸術」です。私、これを非常に楽しみしております。興味のある方はコラーレのイベント情報をチェックしてみてください。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています!

校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします

切り取り

できればお名前or児童名()